

Ordeal 0 Part1

参照

・[出典：KT Channel] 「データとは何か？なぜ必要とされているのか」

<https://www.youtube.com/watch?v=BBGyn5XC4O8>

#DataSaber

#Tableau

#データ

#デジタル

データとは

データ：データの発生元である事象に関する記録

データを理解する＝データの発生元である事象を知る

特にデジタルデータは時空間を超えて即時共有可能なものである。

→場所、時間にとらわれずにスマートフォンやPCからアクセスできる。

（例：Twitterのリアルタイムや過去ツイート）

データが必要とされている理由

①業務がデジタル中心に記録されるようになった

手動→デジタルへと記録方法が変わった結果、

- ・大規模
- ・小規模で迅速に

展開できるようになった。

- 大規模展開の例：

地元の八百屋から全国展開のスーパーマーケットへ。

→より多くの人に商品サービスをできるようになった。

- 小規模展開の例：

ShopifyやAmazonなどのプラットフォーム

実店舗を持たずとも、オンライン上で商品サービスを販売できるようになった。

②リアル世界の事象もデジタルデータが進んでいる

センサーなどを用いてリアル世界からデジタルデータが記録されるようになった。

- リアル世界からデジタルデータに記録されている例

- ・人流（日ごとに街へ訪問した・街から外出した人の数を把握）

- ・天気（気温）

- ・車の走行情報（走行場所や距離）

- ・人の健康（スマートウォッチにより管理される脈拍、体温）

→デジタルツイン（リアル世界の出来事がバーチャル世界でデータに記録される）時代になっている。

=データは世界を映す鏡

③データにアクセスする手段が以前より容易になった

■リソース面への解決策

時代を経るごとに、

- ・ネットワークの高速化（例：5G通信技術）

- ・クラウドリソースの安定供給（例：巨大な物理サーバー→AWSなどのクラウドサーバーを利用）

- ・クラウドリソースをより効率良く使う方法が登場（Snowflake）

したため、データにアクセスする手段がより容易になった。

■スキル面への解決策

時代を経るごとに、ノーコードで直感的にデータにアクセス・分析するツールが開発されたため、

データにアクセスする手段が容易になった。

例：Tableau

意思決定・アクションとデータの必要性

私たちは

「意思決定→アクション→フィードバック→意思決定→アクション…」

という繰り返しのなかで生きている。

フィードバックはデータの中にあるので、

データを扱えなければ意思決定やアクションに繋がらず困ってしまう。

→データを扱えることになることは意思決定・アクションを行うことができることを意味する。